

**平成27年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

施設名	伊丹市立図書館北分館			
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。			
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援			
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 まちづくりステーションきらめき （団体の住所又は所在地） 伊丹市千僧5丁目91番地1 10-205			
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日		
管理運営上の目標 （管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標）	指標名	来館者数・貸出冊数 （単位： 人・冊 ）		
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数		
	今年度の目標値	149,000人・300,000冊	通期の実績値	146,407人・287,414冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27 (上期)	H27 (通期)
	来館者数(人)		140,159	154,933	155,127	148,513	144,913	75,532
講座開催回数(回)		65	180	168	165	156	69	146
講座参加者数(人)		686	3,613	3,237	2,756	2,630	1,771	3,183
貸出冊数		251,684	301,016	303,912	289,063	286,548	146,712	287,414

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度指定管理者の収支状況 〈単位:千円〉	計画（通期）		実績（通期）	
	〈収入の部〉		〈収入の部〉	
指定管理委託料		24,362	指定管理委託料	24,362
事業収入（講座料収入等）		0	事業収入（講座料収入等）	0
その他		22	その他	25
合計		24,384	合計	24,387
	〈支出の部〉		〈支出の部〉	
人件費		22,567	人件費	22,392
維持管理経費		83	維持管理経費	104
事業等経費		1,734	事業等経費	1,630
その他			その他	
合計		24,384	合計	24,126
	〈収支差〉		〈収支差〉	
収入合計－支出合計		0	収入合計－支出合計	261

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ 〈単位:千円〉		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入		0	0	0	0	0
（内、使用料収入）		0	0	0	0	0	-
市の支出		30,970	30,970	31,242	31,862	31,862	-
（内、指定管理委託料）		23,470	23,470	23,742	24,362	24,362	-
実質経費（歳出－歳入）		30,970	30,970	31,242	31,862	31,862	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理 体制等 に関する 事項	維持管理業務 の実施状況	館内の清掃を定期的 に実施し、常に清潔 に保たれているか。	A	いずれの項目も「協 定書」及び「仕様書」 の規定事項を遵守し、 伊丹市の方針に従い、 適切に対処している。	A	協定書・仕様書に基づ き、適正に維持管理 し、環境に配慮した施 設運営を実施し ている。アンケートも 高い評価を得ている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置など の実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	職員の資質向上のため必要な職場内研修の実施や外部研修への積極的参加を促すとともに必要な職員配置を行い、利用者へのサービス向上を図っている。	B	研修に参加し、職員の資質向上を図っている。研修後の知識の共有も実施している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	消防法に定められた避難訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを作成し、危機管理意識の向上に努めている。	B	ホール職員も含めたメーリングリストを作成するなど、危機管理の重要性を認識し、適正に取り組んでいる。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等 に関する 項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	図書館の業務はサービス業であることを認識し、常に利用者サービスの向上に努めている。	B	「ぶらり読み掲示板」等の読書啓発事業を実施し、利用者サービス向上に向けて積極的に取り組んでいる。満足度調査の評価も高い。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業計画どおり、実施しており、読み聞かせ等の読書啓発事業を効果的に実施するために、2階の児童館機能との連携を図っている。	B	講座参加者数が増加するなど魅力的な図書事業を継続的に展開している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護条例等の規定に基づき個人情報の遵守に努めるとともに、ホームページや広報誌等による情報の提供を積極的に行っている。	B	個人情報について、法令遵守及び適正管理を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	毎月、経理処理のチェックを行い適正経理に努めている。	B	収支計画に基づき、適正に行っている。複数によるチェック体制を実施している。
経理処理は、適切に行っているか。		A	A			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	図書館サービス向上に意欲的に取り組み、講座参加者数も増加している。来館者数・貸出冊数共、目標値には届かなかったが、市が期待する管理者としての責務は果たされている。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成28年3月2日 ~ 平成28年3月15日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・本の貸出・予約等について →「たいへん満足」44%、「やや満足」52%	今後も本館や分館との連携を密にし、迅速、丁寧な手続きが出来る様に努めます。
	・本や調べものの相談について →「たいへん満足」40%、「やや満足」55%	
148	講座やおはなし会など行事について →「たいへん満足」29%、「やや満足」71%	今後とも事業内容の創意工夫や児童館との連携強化など講座内容の更なる充実を図ります。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置